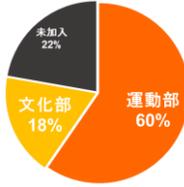


1 部活動を取り巻く状況

部活動の位置づけと加入状況

中学校学習指導要領（H29文部科学省）
 ・生徒の自主的、自発的な参加により行われる。
 ・学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。

▶教育課程外ではあるが、学校の判断により、市内約430部が設置されており、約8割の生徒が任意で加入している。（R4生徒数14,566人）（別①）



◆市部活動に関する調査 (R3中学1年2年対象)

これまでの取組と残る課題 (別②)

H28 総合教育会議	生徒の自主性を軽視した指導	長時間にわたる活動	専門外の教員による指導	生徒数の減少
---------------	---------------	-----------	-------------	--------

H29 静岡市部活動ガイドラインの策定 (別③)

現在	指導の在り方を示すことで、 生徒主体の活動が根付きつつある。	活動日、活動時間を定めたことで、 活動量の適正化が図られている。	外部顧問を導入したが雇用条件等から 確保が困難であり効果が限定的。	合同チームは浸透したが 一時的な救済措置にとどまる。 エリア制は未実施。
----	---------------------------------------	---	--	---

(別④⑤)

種目の選択肢が減少

53% 設置数が10部以下の学校は53%(43校中23校)

隣の学校にはやりたい種目があるのに…。(別⑥)
 3人に1人がやりたい種目が部活にない (R3小6対象)

仲間と充実した活動ができない (別⑦)

92部 10人以下で活動している運動部350部中92部

大会に向け部員が揃うか不安。いつも同じ練習になってしまう。

専門的な指導が受けにくい (別⑧)

51% 競技経験がない顧問教員の割合51%

経験がなく安全面など指導に不安。顧問が足りず複数体制がとれない中、本務と重なり指導に立ち会えない。



部活動改革（R2文部科学省）(別⑨)
 ◆休日に教科指導を行わないことと同様に、**休日に教師が部活動の指導に携わることのない環境を構築する**等
 ▶教員の勤務時間外における部活動指導の在り方についても明文化され、今後、教員に代わる指導者が必要となる。

将来
 ▶6年後のR10には、生徒数12,436人、部員数8,456人と更なる減少が想定される。(別⑩)

従来の部活動では持続可能とはいえない状況である。将来にわたって、中学生の有意義な活動を維持することが難しい。

2 改革の方向性

今後大切にしたい3つの価値

1 スポーツ・文化芸術の活動機会

- 家庭状況に左右されることなく中学生の活動の場を保障
- スポーツ・文化芸術活動を楽しみきっかけづくり

2 人間形成

- 仲間との目標に向けた取組により社会性・主体性の育成

3 居場所づくり

- 共働き家庭、核家族化が進む中、有意義な「居場所」としての役割

学校の枠組みを越えて
 地域資源を活用した基盤を展開 (別⑪⑫⑬)

学校ごと運営する部活動では
価値を維持することが困難な状態



地域に展開することで
 新たな価値の創出



市民が気軽にスポーツ・文化芸術を楽しむ**入口**となる
裾野の活動として、スポーツ振興・文化振興施策と連携

4 地域での好循環

- 地域人材の交流、コミュニティ
- 大人のやりがい、生きがいなど

新たな活動の可能性について関係者からの意見

- ①部活動改革検討委員会 部活動に関わる関係者から、改革の方向性や方策について意見聴取(別⑭⑮)
- ②種目団体のヒアリング 既存種目のある15の種目団体から、種目の特性や大会の在り方について聞きとり(別⑯)
- ③実践研究(国の委託事業R3~) 少子化対策としての拠点校式と教員に代わる地域人材の活用について指定校による研究(別⑰⑱)

- ①今の部活動のカタチを維持することに囚われ過ぎると本質を見失うのではないかと。
- ①費用負担、競技レベル、移動負担などを検討し、納得できるカタチにしてほしい。
- ②教員に任せきりだった。協会もやらなくてはいけない。市がリードしてくれるといい。
- ②新しい活動はどのような活動になるのか。方針や責任の所在を明確にして協議したい。
- ③少子化への対応として、拠点校式は有効な手段となりえる
- ③学校管理外の活動とすることで、地域人材の参画がしやすい。専門的な指導で活動も充実。

将来にわたって、中学生がスポーツ・文化芸術に親しめる環境を実現するため静岡市ならではの新しいブカツを構築する改革が必要。

3 静岡モデル「シズカツ」

目指す姿

将来にわたって、中学生がスポーツ・文化芸術に親しめる環境

静岡市の新しいブカツ



具体的なアクション (別⑨)

1 種目や地域の状況に応じて柔軟なチーム編成



●部活動に代わる活動として、市内200拠点程度で展開予定 (別⑩)

2 専門的な指導のできる人材を配置可能な体制構築



期待できる効果

選択肢の拡充

学校規模にかかわらず入部できるため、選択肢が確保できる

部員の確保

部員数の確保が見込まれ、仲間とともに計画的に活動できる。

経験ある指導員

安全で合理的な活動が保障できる種目の楽しさに触れられる



着実な実施に向けて

1 静岡市が実施する教育的事業として、市の責任のもと、方針等を定めた上で関係団体との協力をえて、運営を行う。(別⑫)

事業方針

- 生涯にわたって活動に親しむ入口としての役割を果たす。
- 仲間との活動を通じ、人間力の向上を目指す。

2 R8までに休日のシズカツの全都市展開を目指す。

- 理由
- ①活動時間が確保しやすい
 - ②地域人材が参画しやすい
 - ③学校施設を利用しやすい



3 平日と休日の活動の、一貫性を大切にする。(別⑭)

	平日	休日
R8の姿	学校管理下 部活動	市の事業 シズカツ
価値	スポーツ・文化芸術の機会	人間形成 居場所づくり
指導原則	1,生徒が主人公 2,体罰暴言の禁止 3,適切な活動量 4,安全管理 5,達成感を得る	
活動時間	平日2時間程度・休日3時間程度 (週4日以内)	
活動単位	学校単位(又はエリア単位)	原則、エリア単位
活動場所	自校(又は近隣校)	自校又は近隣校等
指導体制	教員	市が認めた地域指導員※

※指導を希望する教員や部活動指導員を積極的に活用することを想定。たとえ指導者が変わっても同じ方向性で子どもたちの活動を見守る指導の原則を含む運営マニュアルを策定する。

今後の検討事項

